

令和元(2019)年度「とちぎエコ通勤 week」実施結果について

1 実施概要

(1) 趣旨

通勤時における渋滞緩和及び地球温暖化防止並びに公共交通利活用意識の高揚に資するため、県及び市町並びに民間等事業所が一斉にエコ通勤に取り組む「とちぎエコ通勤 week」（エコ通勤統一行動週間）を実施した。

(2) 主催

栃木県

(3) 協賛(バス100円乗車証)

宇都宮市、足利市、栃木市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、那須烏山市、那須町、関東自動車(株)、ジェイアールバス関東(株)、東武バス日光(株)、日光交通(株)

(4) 後援団体

29 団体 (栃木県市長会、栃木県町村会、商工・環境関連団体、公共交通事業者、報道各社等)

(5) 実施期間

令和元(2019)年10月15日(火)～10月21日(月)

2 令和元(2019)年度実施結果(参考値)

台風19号による被災の影響を考慮し、市町分の集計を行わなかったことから、令和元(2019)年度の実施結果については参考値として集計を行った。

(1) 参加事業所数

176 事業所 (H30 比+3 事業所) が参加。

(2) エコ通勤率の変化

エコ通勤 week 期間中のエコ通勤率が約 41.7%となり、通常日に比べて 16.7 ポイント上昇した。

区分	通常日(A)	week 期間(B)	増減(B)-(A)
エコ通勤率	25.0%	41.7%	+16.7

(内訳)

(県)	35.9%	37.1%	+1.2
(市町)	未集計	未集計	-
(民間)	22.0%	43.7%	+21.7

※ 民間からのアンケート回収率 66.0%

(3) 参加者からの自由意見

- ・自転車通勤したが、天気も良く季節が感じられ良い運動となった。
- ・各社員が地球温暖化防止について考える良い機会になった。
- ・近所に住む社員が自動車相乗りで出社したが、会話を楽しみながら通勤できた。
- ・台風19号の関係で、早出出勤をしたためエコ通勤できなかった。
- ・台風19号被害への対応で緊急の業務もあり、自動車通勤せざるを得なかった。
- ・天候不良でエコ通勤が難しい日があった。